

2024年4月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	17,433,081	12,247,439	142.4%	39,117,092	44.6%
国内旅行	3,474,189	3,302,093	105.2%	5,174,436	67.1%
訪日旅行	1,251,881	937,125	133.6%	3,023,623	41.4%
合計	22,169,152	16,486,659	134.5%	47,315,152	46.9%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデーtravel、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするとともに、2019年同月比を記載しております。

■ 海外旅行

新型コロナウイルス感染症5類移行後初のGWだったこともあり、前年同月比では増加したものの、2019年のGWが10連休であり、特に4月出発に人気が高かった一方、今年においては飛び石となったGWの日並びも影響し減少となりました。

主な渡航先としては、4月29日出発でMSCクルーズの販売を強化した済州島が2019年同月比392.6%と大きな伸びをみせ、韓国全体でも同87.0%と健闘いたしました。また、欧州・中近東・アフリカといった長距離路線において、添乗員付きツアーが2019年同月比89.6%となるなど需要の高さがみられました。一方、本来この時期にファミリー層などにより伸びがみられるハワイ・ミクロネシアにおいては、26.1%と低調な結果となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比142.4%、2019年同月比44.6%の174億3,308万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	46.4%
オセアニア・南太平洋	62.5%
ハワイ・ミクロネシア	26.1%
欧州・中近東・アフリカ	63.1%
北米・中南米	44.5%

商品別	2019年同月比
手配旅行	47.7%
企画旅行	42.4%

チャネル別	2019年同月比
店舗	33.5%
オンライン	62.4%

■ 国内旅行

GW施策として、「最大2万円引きGWクーポン」の対象期間を延長するなど、間際の出発の取り込み強化を図りました。取扱高においては、出雲大社の団体祈祷と八足門(やつあしもん)の特別参拝が組み込まれた添乗員付きツアーが好調に推移し、島根県が前年同月比で197.6%、2019年同月比で308.5%となるなど、大幅な伸びを示しました。また、バスツアーでは、春の風物詩となっている「富士芝桜まつり」などの花見を絡めたツアーが人気を博し、前年同月比148.5%、2019年同月比105.4%と好調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比105.2%、2019年同月比67.1%の34億7,418万円となりました。

■ 訪日旅行

本格的な春の桜シーズンを迎え、北米や豪州からの団体旅行が引き続き好調に推移し、取扱高を牽引しました。個人旅行においては、HISアムステルダム支店をはじめとする欧州の現地法人からの受客や、海外のOTAサイトからの富士山&箱根・果物狩り・アウトレットショッピングといった定番コースの予約が好調に推移しました。また、HIS九州事業部と連携し、GWの韓国・済州島2WAYチャーターにおいて、韓国からの福岡・佐賀コースを受注するなど、新たな展開を図りました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比133.6%、2019年同月比41.4%の12億5,188万円となりました。

2024年4月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比133.1%、2019年同月比46.9%の221億6,915万円となりました。

2024年4月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
インバウンド	9,225,167	5,856,382	157.5%	14,083,793	65.5%
アウトバウンド	13,693,672	14,206,452	96.4%	13,964,501	98.1%
合計	22,918,840	20,062,834	114.2%	28,048,294	81.7%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2024 年度のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019 年同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。 海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

■ 海外インバウンド

韓国法人では、K-POP のファンミーティングツアーの受客が好調に推移したことで、前年同月比 186.2%、2019 年同月比 103.6%となりました。また、イギリス法人では、4 月に開催されたロンドンマラソンに伴うツアーが好評を博し、前年同月比 158.9%、2019 年同月比 99.1%と好調な回復をみせました。「MIKI グループ (※1)」では、チューリップシーズンのオランダをはじめとした、日本発欧州行き企画旅行が引き続き好調に推移したことにより、前年同月比 159.8%、2019 年同月比 76.5%と、海外インバウンド事業全体の取扱高を牽引しました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 157.5%、2019 年同月比 65.5%の 92 億 2,516 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

ハワイ法人では、日本の桜シーズンに合わせてローカルマーケット向けに募集型ツアーを販売し、前年同月比 103.2%、2019 年度同月比 125.8%と好調に推移しました。また、フィリピン法人では、日本行き・ヨーロッパ行きの法人団体ツアー需要を取り込み、前年同月比 101.2%、2019 年同月比 90.9%と順調に回復しております。カナダ法人の「RED LABEL VACATIONS (※2)」は、パンデミック後のリベンジ旅行需要が落ち着き、取扱高は前年同月比 89.1%、2019 年度同月比 124.1%となりました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 96.4%、2019 年同月比 98.1%の 136 億 9,367 万円となりました。

2024 年 4 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 114.2%、2019 年同月比 81.7%の 229 億 1,884 万円となりました。

(※1) MIKI グループ (連結対象：2017 年 5 月～)

欧州並びに日本を含むアジア各国の 30 都市以上で事業展開するグローバルツアーオペレーター。サプライヤーとの強い信頼関係に基づく確かな仕入と、きめ細やかな手配力・現地を知り尽くした企画力で、世界中の旅行会社の安心・安全・高品質な旅作りを実現。

(※2) RED LABEL VACATIONS (連結対象：2019 年 3 月～)

カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通して、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R 室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177